

第1回 ゆるっと未来トーク

ゆるっとした雰囲気の中 十勝の未来のために
どうしたらいいのか トークしてみましよう。

今回集まっていたただいた皆様



ゆるっと未来トーク



ファシリテーター
帯広畜産大学 助教 窪田さと子氏



高校生代表
帯広三条高校 柳谷 綾香さん



高校生代表
帯広三条高校 堀内 遥さん



建設業に勤める女性社員
萩原建設工業(株) 津川 彩香さん



食で地域を元気にする実践者
(株)at LOCAL 堀田 悠希さん

まちづくりに興味のある大学生
大学生 黒地穂乃香さん
森山 さらさん
平石 ののかさん



地域のPRに取り組む女性
十勝観光連盟 池田 路香さん
澤田 寛子さん



地域のくらしをサポートする女性
帯広市役所 裏南 萌衣さん



新時代のおもてなしに取り組む実践者
十勝シティデザイン(株) 坂口 琴美さん



「ゆるっと未来トーク」開催のねらい

- 全国的な地域課題となっている「人口減少」について、現状や流出傾向の高い若年層に対する原因分析及び対策の検討を行う場です。
- 新たな町の魅力を発掘するなど人口流出を減らすための解決方法を「ゆるっと未来トーク」メンバーの視点から分析

「ゆるっと未来トーク」が考える
「人口減少対策プロジェクト」の提案をゴールに!

本日の

「ゆるっと未来トーク」

ではこんなお話をします。

- **はじめに 「人口減少」って**
- **私たちの住む十勝を知る**
十勝の風土・産業
- **十勝の人口はこうなっている**
人口の将来展望、十勝の人口推移、十勝の今の人口
- **この先、十勝の人口もさらに減少へ...**
十勝管内の転出状況、女性の転出数
- **就職を取り巻く様々な現状**
卒業者の就職・企業が抱える課題・取組、大学のキャリア支援の状況

はじめに 「人口減少」って

- ・日本では少子高齢化が進み2008年にピークを迎えた人口は減少し始めています。
- ・一方、北海道はそれよりも10年早い1997年をピークを迎え、1998年以降は人口減少局面に移行し、さらに2003年以降は「**自然減**」と「**社会減**」が相まって**人口減少が加速**しています。
- ・「**自然減**」とは、死亡数が出生数を上回る状態のこと
- ・「**社会減**」とは、その地域の人口が他地域への転出によって生じる減のことで、転入から転出を差し引いてマイナス（出て行った人が多い）場合を「**転出超過**」という。

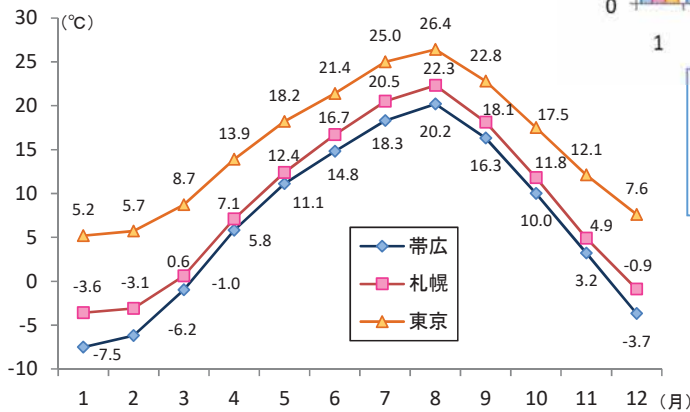
特に地方における人口減少のスピードは速く、産業の担い手不足など、様々な影響がでてきています。私たちの暮らす十勝ではどうでしょう

私たちの住む十勝を 知る

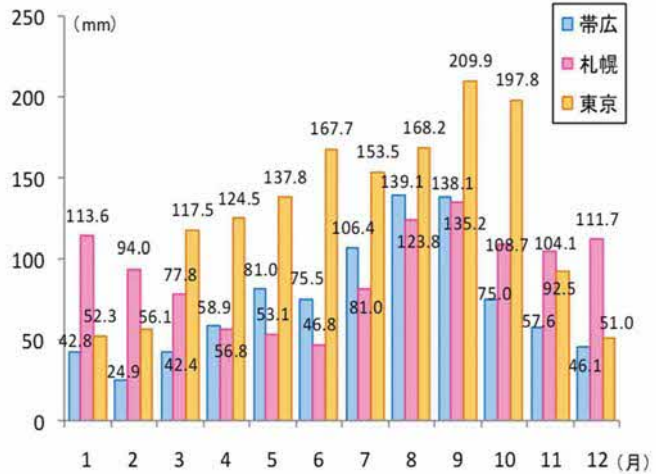
十勝の風土

一年を通じて、全国的にも有数の日照時間に恵まれる。年間降水量も少ない

■ 気温 (平年)



■ 降水量 (平年)



十勝の冬
厳しい寒さだが、雪は少なく晴天が続く。「とち晴れ」と言われるのはここからか

十勝の夏
海岸部は比較的低め
内陸部は高温傾向
近年は各地で厳しい暑さが見られる

出典：気温、降水量とも1981～2010年の30年平均値 気象庁HPより

十勝の産業

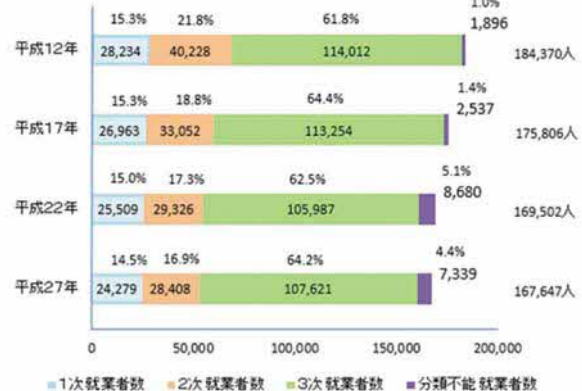
十勝は、農業、林業、漁業などの**第1次産業が盛ん**
特に農業については、北海道の耕地面積の1/5を十勝が占め、**北海道農業の中心的地域**

十勝で働く就業者数の産業別構成比は、全道と比較して、**特に農業従事者が多く第1次産業の割合が約2倍と高い**

しかし、その推移を見ると、**第1次産業及び第2次産業の構成割合は徐々に縮小していることがわかる**

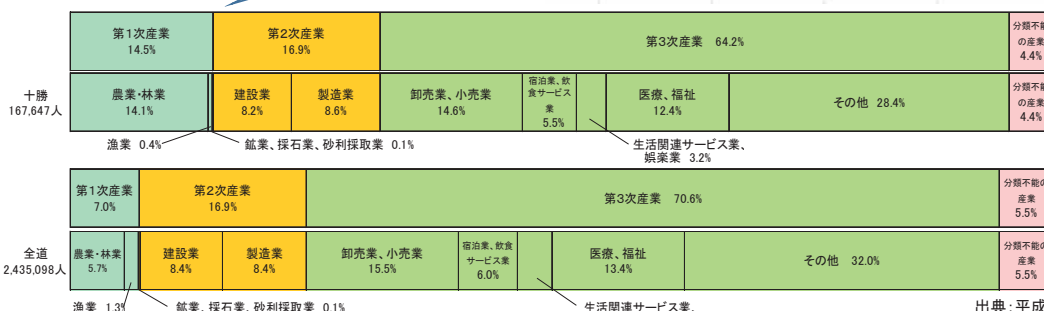
■ 就業者数の産業別構成比の推移

出典：平成27年 国勢調査



■ 就業者数の産業別構成比

一次産業就業者数は全道の約2倍

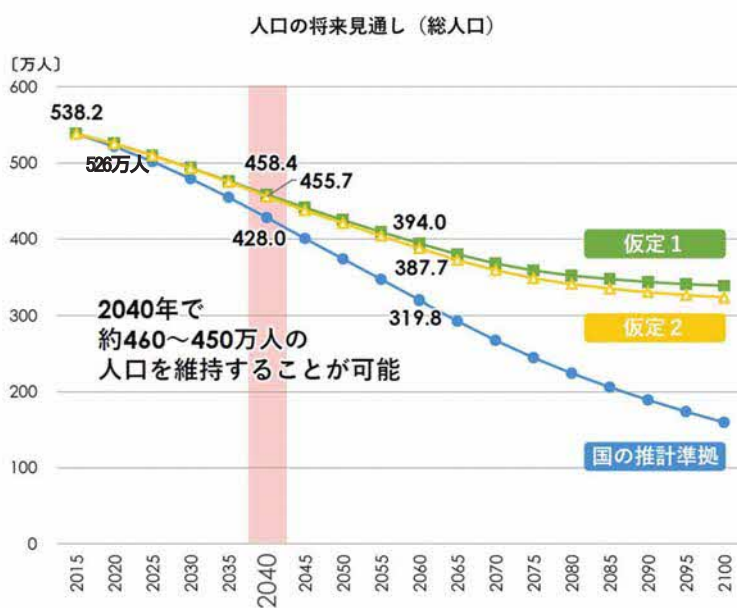


出典：平成27年 国勢調査

十勝の人口はこうなっている

過去、現在、未来の人口は...

北海道における人口の将来展望



※合計特殊出生率（ごうけいとくしゅしゅっしょうりつ）
一人の女性が一生の間に生む子供の人数の傾向を示す指標

出典：北海道人口ビジョン

国の推計：2040年の人口約428万人

今後、有効な対策を講じない場合の人口推計として国が発表
小規模市町村ほど減少が加速、消滅も

北海道では、人口維持のため、道内各地域において対策を効果的に行うための長期的指針として「北海道人口ビジョン」を策定

仮定1：2040年の人口約458万人

- ①自然動態（合計特殊出生率）
2030（令和12）年に1.8
2040（令和22）年に2.07
- ②社会動態（転出などの移動数）
2023（令和5）年で転出超過がゼロ

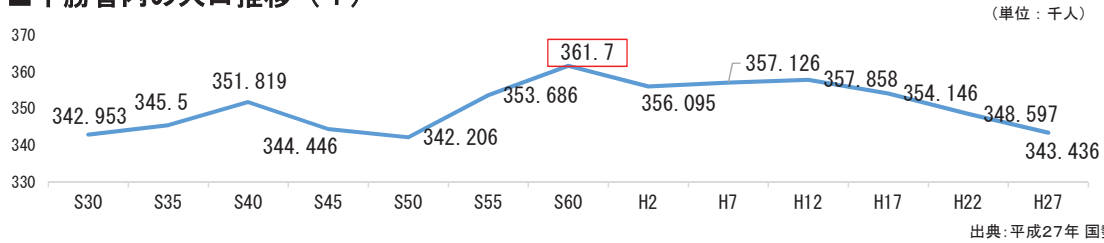
仮定2：2040年の人口約456万人

- ①自然動態（合計特殊出生率）
札幌市 2030（令和12）年に1.65
2040（令和22）年に1.8
2050（令和32）年に2.07
札幌市以外は仮定1と同様
- ②社会動態（転出などの移動数）
仮定1と同様

十勝の人口推移

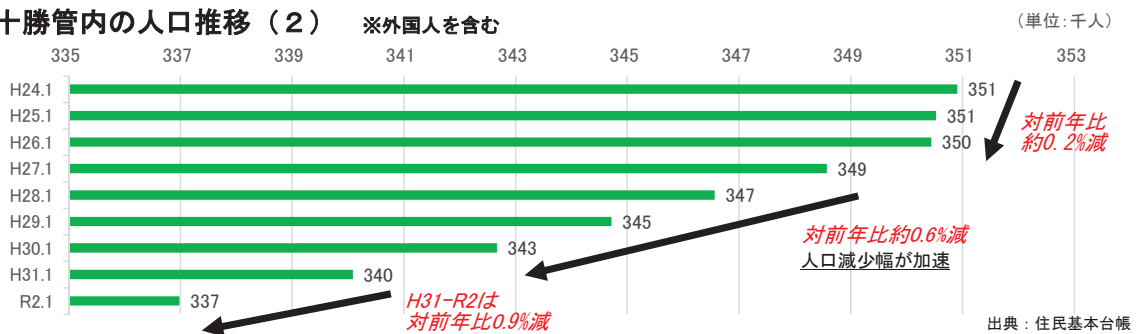
- 北海道は、全国を上回るスピードで急速に人口減少が進んでおり、**十勝管内でも人口減少が進展**
- 管内の総人口は**昭和60年をピークに減少傾向**。平成27年の総人口は昭和30年（約60年前）と同水準

■十勝管内の人口推移（1）



- 平成24年度以降は前年比約0.2%で減少していたが、平成27年以降は、約0.6%の減少と**人口減少が加速**

■十勝管内の人口推移（2） ※外国人を含む



十勝の人口

出典：住民基本台帳に基づく(2020年1月1日現在)

市町村名	人口	昨年からの増減数	減少率	自然増減	社会増減
帯広市	16万6,043	-846	-0.51	-735	-111
音更町	4万4,342	-318	-0.71	-249	-69
士幌町	6,044	-119	-1.93	-49	-70
上士幌町	4,957	-43	-0.86	-40	-3
鹿追町	5,331	-102	-1.88	-26	-76
新得町	6,099	-118	-1.90	-73	-45
清水町	9,370	-124	-1.31	-71	-53
芽室町	1万8,468	-199	-1.07	-97	-102
中札内村	3,917	-1	-0.03	-12	11
更別村	3,157	-18	-0.57	-16	-2
大樹町	5,526	-101	-1.79	-49	-52
広尾町	6,669	-219	-3.18	-84	-135
幕別町	2万6,636	-208	-0.79	-169	-39
池田町	6,619	-131	-1.94	-82	-49
豊頃町	3,145	-60	-1.87	-35	-25
本別町	6,899	-188	-2.65	-107	-81
足寄町	6,787	-141	-2.04	-52	-89
陸別町	2,362	-27	-1.13	-33	6
浦幌町	4,615	-139	-2.92	-62	-77
十勝 計	33万6,986	-3102	-0.91	-2,041	-1,061
【参考】全道計	526万7,762	-3万6,651	-0.69	-3万4,320	-2,331
【参考】全国計	1億2,713万8,033				

十勝全体で
3,102人減 ↘↘
全ての市町村で**人口減**

減少率は
広尾町が最も高い
(3.18%減)
※若年層が進学や就職で離町するケースが増えている

帯広市は、**減少数が拡大**
・2019年 764人
・2020年 846人

本別町は**7,000人**を、
上士幌町は**5,000人**を
割り込む

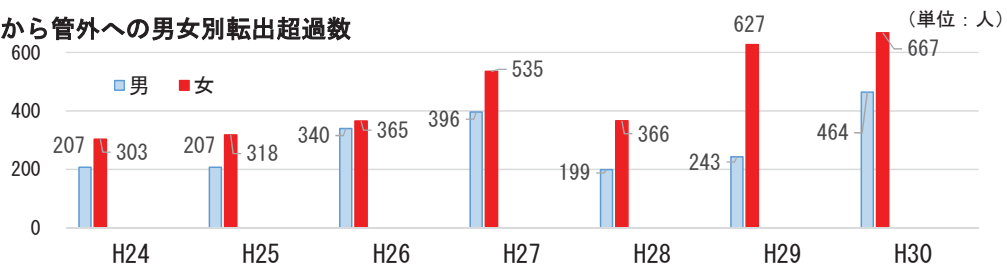
この先、十勝の人口もさらに減少へ...

なぜ、人口流出がおこるのか

十勝管内の転出状況

○ 男女別で転出数を比較すると**女性の転出数が多く**、最大で男性の**2.6倍**転出している年もある状況。

■ 管内から管外への男女別転出超過数

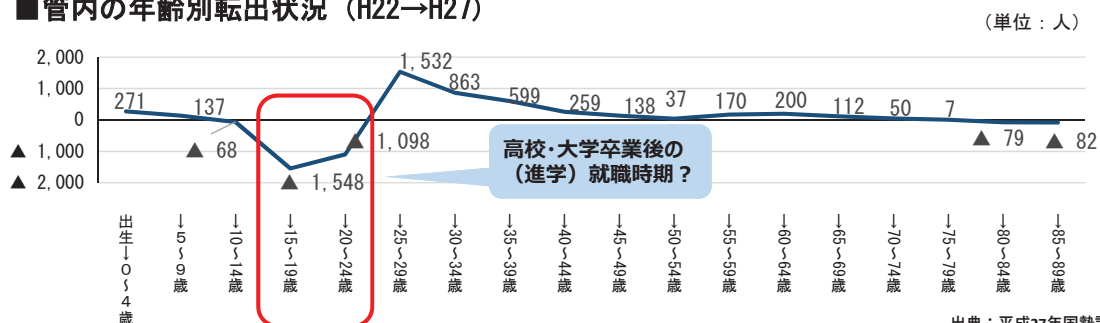


女性は男性の **1.5倍** **1.5倍** **1.1倍** **1.4倍** **1.8倍** **2.6倍** **1.4倍**

出典：住民基本台帳

○ 年齢別に見ると**15～24歳の転出超過数が多い**状況。

■ 管内の年齢別転出状況 (H22→H27)



高校・大学卒業後の
(進学) 就職時期?

出典：平成27年国勢調査

若年女性の流出傾向が高い

人口の転出人数が高い15～24歳を管内市町村別で比較してみると、特に郡部において女性の転出傾向が高い。

	15～19歳	20～24歳
帯広市	男性転出数 > 女性転出数	<u>女性転出数 > 男性転出数</u>
音更町、芽室町、幕別町	男性転出数 > 女性転出数	<u>女性転出数 > 男性転出数</u>
上記以外の15町村	<u>女性転出数 > 男性転出数</u>	<u>女性転出数 > 男性転出数</u>
合計	男性転出数 > 女性転出数	<u>女性転出数 > 男性転出数</u>

出典：平成27年国勢調査

就職を取り巻く様々な現状

- ・ 卒業者の就職状況
- ・ 企業が抱える課題・取組
- ・ 大学のキャリア支援の状況

十勝の高校・大学等卒業者の就職状況

高校

■十勝管内の新規高校卒業者の就職状況（令和2年3月末）

（単位：人）

【出典：ハローワーク帯広】

	男性		女性		合計	
卒業者数	1,481		1,403		2,884	
就職者数	325		344		669	
十勝管内	242	74.5%	319	92.7%	561	83.9%
道内	45	13.8%	18	5.2%	63	9.4%
道外	38	11.7%	7	2.0%	45	6.7%

卒業生の23.2%が就職を選択

卒業生の19.5%が十勝管内に就職

○十勝管内の新規高校卒業者の就職希望（振興局ヒアリング（R1.7））

- ・ **希望勤務地は、地元志向が多い。**
- ・ **特に女子生徒は、大半が管内の事務職を希望**
- ・ **やむを得ず**管外への就職希望を出す生徒もいる。（希望する職場がない。）

大学等

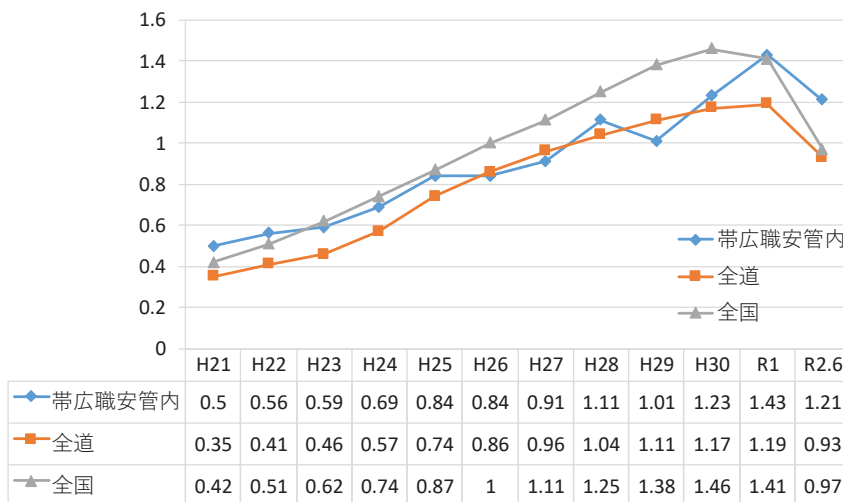
■十勝管内の短大・大学卒業者の就職希望（振興局ヒアリング（R1.7））

- ・ **短期大学在学生の90%以上、大学在学生の約10%程度が管内に就職。**
- ・ 十勝管内は、首都圏と比較して**給与水準が低い**との声が聞かれる。
- ・ 相当数の学生が奨学金を借りているため、給与の高い企業へ就職を希望する傾向。
- ・ 福利厚生としては、週末の週休日設定や休日日数の確保などのニーズが高い。
- ・ 短大生・大学生向け大手企業主催の合同説明会に、**地元企業の参加が少ない**

有効求人倍率の推移

■有効求人倍率（年平均）の推移

R2年1月から徐々に下がり始めている。



出典：北海道労働局（ハローワーク帯広）

十勝管内企業向けアンケート①

～求人活動をする上での課題～

R2.8実施 企業向けアンケートでの回答より抜粋

■募集しても人が来ない・・・

(28/77社が回答)

- ・申し込みが来ない。(建設業)
- ・**大卒はほとんど無理、応募が来ない**。(建設業)
- ・業務に関連した学部や学科から応募が少ない。(コンサル業)
- ・大学については、求人サイトのエントリー数も減少、求人票を送ってもなかなか応募申し込みが来ない状況。(製造業)
- ・**求人募集しても申し込みがない**。(林業)
- ・近年、進学率の向上により高卒採用が減、**特に男子生徒の就職希望者が減少している**。(金融業)
- ・大卒を採用したいので求人票を送っているがなかなか来ない。(運輸業)
- ・技術系の大卒者を採用したいので各大学に求人票を送るなどしているがなかなか申し込みがこない。(建設業)
- ・福祉系への進学者が減っているため応募者も激減している。(医療・福祉)

■地方には人が来ない・・・

(8/77社が回答)

- ・都市部から少し離れると採用には不利。(建設業)
- ・**会社の立地が、自家用車がなければ通勤ができないので難しい**。(製造業)
- ・札幌にも支社があるので、札幌圏勤務希望の学生が多く、地方都市の配属が難しい状況。(製造業)
- ・**郡隣りに位置する地域性からなかなか応募がこない**。(特に技術職)(コンサル業)
- ・十勝管内以外の大学、短大の申し込みがなかなかない。(医療・福祉)
- ・都市集中型なので、**地方(都市部から離れた町村)には若者が楽しむ場所等がないため、求人しても懸念されがち**だと思う。(建設業)

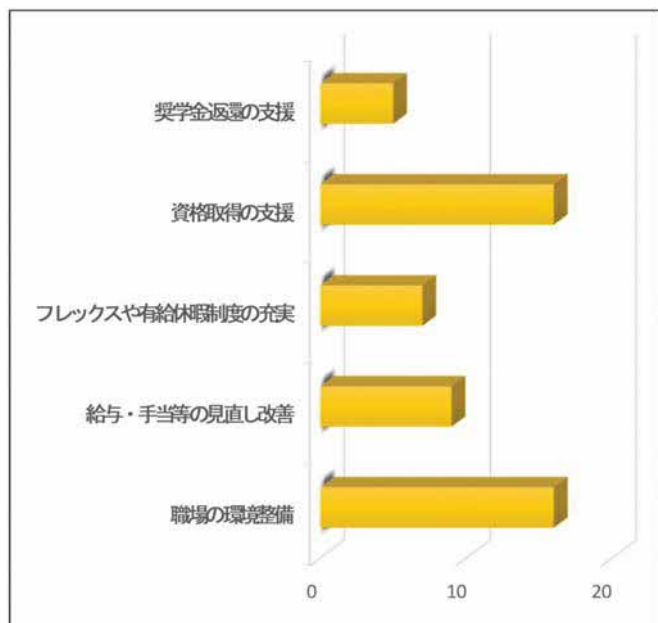
■採用決めても人が来ない・・・(若干数/77社が回答)

- ・内定後の辞退率を下げたい。(金融業)
- ・採用試験・面接の直前で無断欠勤する人がいた。(その他サービス業)
- ・内々定辞退を防ぐためのフォローアップが課題(その他サービス業)
- ・内定から意思決定までの期間が長くなっている(製造業)
- ・これまで数名採用したが、本人の事情で退社、定着する人材と巡り合うのが困難。(製造業)

十勝管内企業向けアンケート②

～働きやすい職場にするための取組～

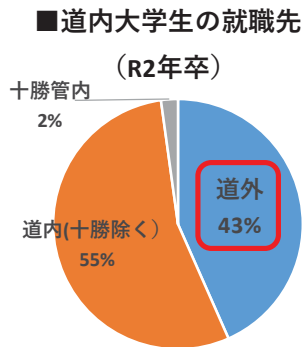
【様々な取組に関する回答の一部】



独自の**奨学金返還支援制度**を導入した、**会社補助にて専門学校へ進学**させる、資格取得奨励金を支給、新入社員は1年間給与をもらいながら専門学校に進学(学費は全額会社負担)、**社用車の貸与**、初任給を含む給与規定の改定、勤続年数に応じたお祝い金の支給、**大学等に進学する子女がいる場合一人あたり月5万円を支給**、年次有給休暇の取得促進、定時退庁日の設定、**子供のいる世帯などの事情を聞き取りフレックスの取り決め**をしている、結婚出産を経験しても働き続けてもらえるよう子育てアドバイザーを配置、**未経験者でも現場管理ができるようICTなど導入**する、男女別トイレの設置、女性休憩室の設置、**現場用のトイレや更衣室を導入**、事務機器導入による時間外減少への取組、事務所や工場へエアコンを設置、社員住宅の建設、高卒者は1年間送迎をしている。

R2.8実施 企業向けアンケートでの回答より抜粋

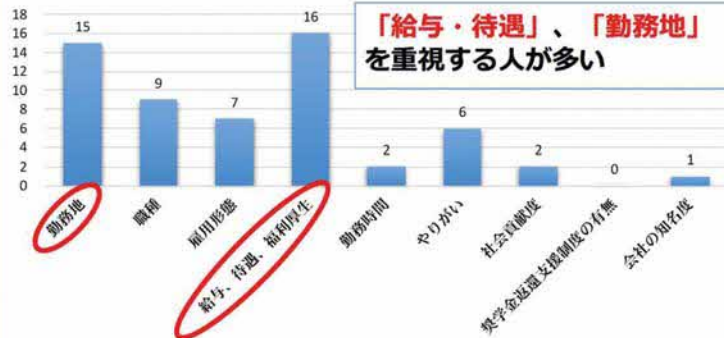
道内大学生等の就職における考え方 ～札幌圏を中心とした道内大学等アンケート結果より～



4割が道外へ就職
(男性のみだと
ほぼ半数が道外へ)

■就職希望先の選定にあたり重視する事項

【R2.7道内大学・短大に対するアンケート19校から回答】



■奨学金の利用状況

- ・奨学金利用率 **45.9%**
- ・利用月額(平均) **62,712円**
※月に75,000円以上の利用も